



恕の心



令和4年4月26日 校長 廣瀬 真樹

生徒会年間テーマ掲示！



生徒玄関に堂々と掲げられています。「三原飾」・・・令和4年度の丸内中生徒会年間テーマです。レッツスタート集会でも生徒会役員から説明がありました。私はこのテーマをこう解釈しました。

「どんな人にも個性がある。それを何より自分自身が大切にし、自分も、そして仲間もお互いを認め、認められていくことで自分を飾り、輝かせていく」→「自分の良いところを伸ばし、一人一人の成長が学校の成長、輝きとなる」・・・本当に素敵なテーマです。

ちなみに2年度は「あ・り・が・と・う」3年度は「宝積」でした。いずれも根本にあるのは「お互いを尊重し高め合っていくこと」なのだと思います。

このテーマがただの掲示物になるのか、丸中生の精神的なよりどころとなって、みんなの心に根付くのかは、生徒皆さんの意識次第です。丸中生全員が作り上げていくものなのです。いつも意識して学校生活を送ってほしいです。

R4年度 生徒会年間テーマ

「三原飾」

テーマに込められた意味

「飾」にはいまの良いところをより伸ばす。
「三原色」は色の割合を変えて混ぜればどんな色も表現できる。



1年、2年、3年の、もつ色（個性）をあわせて
よりよい丸内中学校を創る。

あなたの口ぐせは何ですか？



「口ぐせ理論」というのがあります。とにかく「いい言葉」を使うこと。無意識に自分が「よく使うことば」や「口ぐせ」を分析してみると、自分の未来が分かります。

「どうせ無理・・・」「もう最悪・・・」「俺、頭悪いから・・・」と言っていると本当にその通りの人生を歩むことになってしまいます。自分の現在置かれている困難な状況や意識を一気に変えることは難しいけれど「口ぐせ」なら変えることはできます。そして自分の口から出る言葉はすべて自分のこととして脳は認識してしまいます。

つまり人をけなしたり、皮肉を言ったり、非難したり、文句ばかり言っていると、それはすべて自分に言っていることと同じことになります。



「毒を吐くと、毒は自分にまわる」ということです。

だから、相手をけなすのではなく、相手をいいところをみて、認め、いい言葉を「口ぐせ」にすることが大事だと思います。自分に対しても同じです。そして自分の発した言葉は、いつか必ず自分に返ってきます。



さて、あなたの口ぐせは何ですか・・・？

校長コラム

「幸せの3S」

「すごい」「すてき」「さすが」

「幸せの3S」この言葉を自然と使える人には幸せが寄ってきます。感謝や笑顔が周囲にあふれてきます。自分がときめいたことを素直に伝えられる人は幸せ上手な人なのです。

「でも」「だって」「どうせ」

逆に残念な言葉は「不幸せの3D」です。これを使うと「この人はすぐに言い訳をする人間なんだな」と思われます。簡単に信用を失うことができます。

昨年も載せました。油断するとDを使ってしまう自分がいます。反省です・・・。

